

令和元年度 浜高だより（１２月）

「自覚」することで、人は成長し、強くなれる

校長 榆 木 伸 司

時代が令和へと変わったこの年、私が最も印象深く残った出来事は、W杯ラグビー 2019 大会です。日本が予選グループで強豪国を次々と破り、4 戦全勝で見事ベスト 8 に進出しました。大会は南アフリカの優勝で幕を閉じましたが、リーチ主将が束ね役となって身をもって示してくれた勇気や団結力は、ひたむきにプレーする選手全員から伝わってきました。大会前 TBS にてラグビーを題材にした「ノーサイド・ゲーム」が放送され、私はチームや仲間を気遣い、勝利を目指してプレーし続けた浜畑選手の献身的な姿に心奪われ、BGM が流れる度、涙腺が緩んでいました。W杯大会中は「史上初」「歴史を切り開く」などのフレーズがメディアで踊っていましたが、その根幹を辿れば前回の 2015 大会後に、自分たちの足りない点を「自覚」した所から全ては始まっていたのです。今大会後、選手は口々に大義を貫くために、多くのものを犠牲にして取り組み、自分たちを信じ、目指すラグビーを表現する趣旨のコメントを発していました。重みのある言葉です。教育もまた同じ。浜高生全員が今の自分を「自覚」し、なりたい自分になるために不断の努力を続ける「気概」を持つことが大切であり、教師がその生徒の成長支援を如何に進めていくかを模索しながらも結果として示していくことが求められるのです。自覚した者は、成長し、強くなれる。今年の見学旅行では、そういう意味で 2 年生の「自覚」が見て取れたことが嬉しく、今後の成長を楽しみにしています。One for all, All for one や One team が示す精神は、社会に出たあとでも通じるものであり、高校としても今後も生徒の「自覚」を促し、継続して「努力」ができるよう、生徒ファーストの視点でアプローチしていきます。引き続き本校の教育活動につきまして、変わらぬご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

以上 18 字× 42 行 756 字